

根来山げんきの森倶楽部

令和7年4月作業日誌

活動日…令和7年4月19日(日)9時分30〜15時

天気…曇り

倶楽部員…46人

うるし谷整備 椿 雅孝

参加人数は6人

デッキ作りをメインに作業。基礎を埋込
おおよその位置に設置しその上に骨格
の組み立てを行い鋸で補強、以前倒
した楠木を現場で製材し作った板の皮
を剥いだあと上に置いて現状を確認し
デッキ作業は終了。

今後板を整形し取付、全体の補強と
階段等の製作を予定。

午後からは草刈りを行い大いに汗をか
いて本日の作業を終了！



里山整備 栗山 美和

今回の伐採チームは、男性5人女性2人で炭焼き小屋南側斜面のヒノキを伐採しました。
伐採はプロのOさんにお任せして倒れた木の処理やかかってしまった木を林内車で引っ張
ったりとみんなで協力してなんとか運び出すことができました。

長く伸びた木はどうしても上の枝が引っかかってしまうのですが、大半は、残しておきたいサ
クラと椿を避けての伐採は見事でした！

同場所にチッパーチームもいたので枝の処理を手伝って頂きとても助かりました。

切ったヒノキは今度の道普請に使う予定ですが、枝や半端な丸太は合間を見てクラフトや作
品にできそうな所を選びました。

丸太の年輪を数えたらざっと60ぐらいありました。

間伐してない枝はそのままの年数を過ごしてるので細いなかにもぎっしり年輪があります。ペン
ダントとかになればなーと思います。

中途半端な丸太は輪切りにして今度と里山まつりで売ってみて資金はクラフトで使いたいな
ーと思っています。ただ、割れてしまわないかと心配です。

倒れてくる木のはすごい音がして大迫力！少し当たっただけでもガードレールに少し凹みが
(^_^)

やはり木の伐採は危険であることを認識しました。

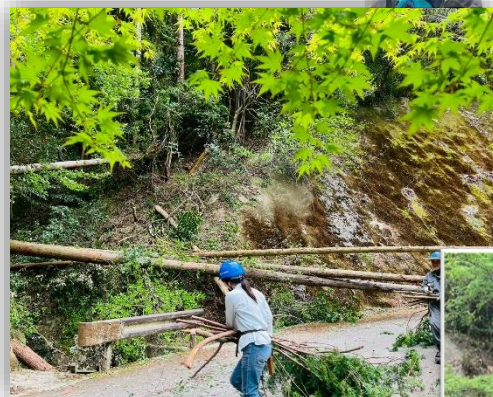
炭出し作業 須山 佳則

本日は、11名の参加で炭出し作業
を行いました。各人マスクをして作
業していますがマスクの隙間から炭
粉末が入り鼻の周りは真っ黒になり
ますが皆ががいい顔になっていま
す。出来高は260kgとなりました。
現在、炭の需要が多くなった為、組
合員全体の協力をいただき炭材伐
採の頻度を上げています。皆様あり
がとうございます。次回の楽しみは
15cmの丸材が炭になるかテスト材
を入れ少しでも効率よく炭が出来る
かを試しています。

皆様お疲れさまでした。



炭出しはお顔が真っ黒に！！



炭焼き小屋わきの枝の処理

楠 正暢



伐採した木の枝が炭焼き小屋の脇に積みあげられていましたが、本日はそれをチップパーで粉碎する作業でした。個人的には「お初」にお目にかかる機械で、メカ好きの私は若干ワクワクぎみです。しばらく使っていなかったのでしょうか、小屋からリンナイでけん引して出し、軽トラからバッテリーケーブルをつないでエンジン始動です。チップパーが作業場所に設置され、興味津々に見ていると、「なるほど！」カッターの動力には別のエンジンを使う仕組みなんですね。エンジンがかかり、結構な音を立てながら、枝を吸い込み始めました。さあ始まったかと思いきや、4〜5本で停止してしまいました。何度かエンジンをかけなおしても調子がイマイチな様で、「あちこち分解掃除をしては様子見」の作業がしばらく続きました。結局、円盤型カッターの回転軸に長年のツルなどが巻き付いていたのが根本的な原因だったようで、その摩擦で負荷がかかっていた模様。時間をかけてそれらを取り除き、午前中のほとんどがメンテナンスで終わってしまいました。その甲斐あってか、午後は機械のご機嫌もすこぶる快調で、爆音を立てて刻みまくることができました。結構な面積にうず高く積まれた枝の山も、皆さんによりテキパキとまるでバケツリレーのようにチップパー近くに寄せ集められ、調子よくどんどん粉碎されていきました。「午前中の遅れを取り戻せたか」と思ったころ、なんと再びエンスト。スギかヒノキの生皮がまたもや回転軸に絡みついてしまっていました。全ての枝を処理しきるのを目前に、残念ながら終了時刻となりました。



事務局から

今年の里山まつりは快晴の下、にぎやかに開催できました。

竹パンや山菜料理を値上げしましたが、どれも売り上げは盛況で瞬間に完売。販売開始後、すぐに売り切れた焼き芋の値上げを来年は検討しましょう。それに、木工品の品ぞろえも増えて来園者のみなさんも選ぶ楽しみが増えたのではなかったでしょうか。木工体験やツリークライミングも例年同様の参加者でにぎわいましたが、何といても今年の特徴は里山散歩とネイチャーゲームという野外活動系のプログラムに参加者が殺到していたこと。ネイチャーゲームは募集人員を大幅に越えた参加者でにぎわいましたし、毎年数人しか参加してくれなかった里山散歩に午前午後とも20人近い参加者が集まってくれました。里山まつりに単にお店を回るだけの参加者だけではなく、緑の中で様々な体験を楽しもうという参加者が増えてくれたことはうれしい限りです。みんなで整備してきたこの里山を楽しんでくれる来園者が今年もたくさん訪れてくれることを願ってみんなで汗を流していきたいものです。 岡田 和久

新規クラブ員研修

山名 竜椰

メンバーは9人ほどで、事務局の0さん引率のもと活動しました。初めは、自己紹介からしました！定年退職された方、自営業をされていた方、職人だった方、新社会人、大学生と様々な背景を持った人が参加しており、ボランティア参加の動機も、森に開放感を感じたくて来た人、新しいことへの挑戦、老後の楽しみ、友達に連れてこられたなど、様々でした！

自己紹介を終えた後、バリアフリーストレイルから散策が始まり、手作りの森とふれあいの森を、丁寧に植物を見て、0さんに解説をしていただいて、生態系の仕組みを少しずつ知りながら進んでいきました。

散策を終えた後、お昼ご飯を食べ、どなたかが作っていただいていたわらび餅をいただきました。

昼食後、ナタと木槌を持ち、炭小屋へ向かいました。炭小屋では、炭がどのように作られ、またそれがどのような形で活用されているのかを知りました。また、持ってきたナタと木槌を使って、0さんの指導のもと、竹を割ってみました。最後、丁度炭小屋周辺で、木の伐採が行われていたため、その見学もしました。



ゆきんコラム

堀田さんが開発したこちらの道具。この度、「落ち葉キャッチャー」と命名されました！！

用途は色々で、溝の落ち葉を掬い上げる。大きな石を掘んで投げる。泥を掬い上げる。集めた落ち葉を掘む。不審者を見つけたら掘む(笑)等々。道具倉庫にあるので、皆さまお使いくださいとの事です(▽)！

